

第 363 号

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
 宮城県商工振興センター内
 宮城県商工会連合会
 TEL. 022(225)8751
 FAX. 022(265)8009
 URL. <https://www.miyagi-fsci.or.jp/>
 発行責任者 会長 齋藤 富嗣
 印刷所 株式会社セイトウ社



綴じ込んで保管しましょう

元気な事業所紹介 たべることくらすことSOW (川崎町商工会)

宮城県柴田郡川崎町の自然豊かな山間に佇む「たべることくらすことSOW」は、オーガニック食品を1g単位で購入できる量り売り方式で販売しています。「SOW」には、“種を蒔く”という意味が込められており、大量消費や無意識な買い物から一步距離を置き“たべること”と“くらすこと”を見つめ直すきっかけを届けています。「必要な分だけ持ち帰る、ちょうどいい暮らし」を実現するための、小さくて確かな「種」のような存在です。
 (詳細は4ページ)

C O N T E N T S

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ●商工会長セミナー・商工会長会議 …………… (2) | ●宮城県よろず支援拠点の経営コラム …………… (5) |
| ●商工会副会長セミナー …………… (2) | ●ワンポイント経営アドバイス「自由闊達」 … (6) |
| ●商談力・販売力向上セミナー …………… (3) | ●商工会等職員採用資格試験のお知らせ …… (7) |
| ●SNS活用セミナー …………… (3) | ●青年部・女性部コーナー …………… (8) |
| ●元気な事業所紹介 …………… (4) | |

地域経済の課題と

未来を語る

— 商工会長セミナー・商工会長会議 —

去る六月三十日、ホテル松島大観荘にて県下商工会長等三十三名と宮城県商工会連合会前会長佐藤浩顧問が参加のもと、商工会長セミナー・同会議が開催された。

本会齋藤富嗣会長あいさつに続いて、商工会長セミナーでは全国商工会連合会総括参与の葎野恭成氏より、「中央情勢について」と題し、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境および世界情勢を交えながら、課題克服のための政策と商工会関係予算等についてご講演いただいた。



挨拶をする齋藤会長

特に、小規模事業者に対する伴走支援の小規模事業対策推進等事業や事業環境変化対応型支援事業等の拡充、令和八年度小規模企業対策予算等に関する重点要望(案)についての説明が行なわれた。

また、地方創生2.0の基本構想の五本柱①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生、②東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散、③付加価値創出型の新しい地方経済の創出、④デジタル・新技術の徹底活用、⑤「産官学金労言」の連携等、国民



勲叙の叙章を授けられた佐藤顧問

令和7年度商工会関係予算等について説明する全国連葎野総括参与

続いて、商工会長会議では、①令和七年度中小企業・小規模事業者への支援強化策について、②令和七年度商工会長等との意見交換会の実施について、③商工会運営における不正防止についての三議題について慎重な審議が行われた。中小企業・小規模事業者への支援強化策については、小規模事業者持続化補助金や県内バイヤーとのマッチングによる販路開拓支援事業、SNSを活用した販路開拓支援事業、小規模事業者伴走型支援体制強化事業等の説明がなされた。会議終了後、佐藤浩顧問叙勲受章を祝う会が開催され、長年商工会の発展に尽力された功績を称える場となった。



令和7年度商工会関係予算等について説明する全国連葎野総括参与

中小企業・小規模事業者の課題と

商工会が担う役割を学ぶ

— 商工会副会長セミナー —

去る七月二十八日、ホテル白萩にて県下商工会の副会長三十八名が参加のもと、商工会副会長セミナーが開催された。

本会齋藤富嗣会長あいさつの後、全国商工会連合会専務理事 塩田誠氏より「商工会運営」と題し講演が行われた。講演では、中小企業・小規模事業者の一人当たりの付加価値額が向上傾向にあるものの、依然としてコロナ前の水準には達しておらず、設備投資も更新中心で前向きな投



全国連塩田専務理事による講演の様子

資が不足している現状が示された。

続いて、本会が実施機関となっている「宮城県よろず支援拠点」の事業内容及び支援メニュー、支援事例について、チーフコーディネーター 佐藤創氏より、説明が行われた。さらに、令和六年度の経営支援事例発表会において、最優秀賞を受賞した栗原南部商工会経営指導員櫻和宏主任主査より支援事例の「九十年以上愛される看板商品で豊かな生業」について、発表が行われた。

最後に、「今後の商工会運営について」と題して本会桃井健次専務理事が座長、齋藤会長と全国連塩田専務理事がアドバイザーとなり各商工会の現状を踏まえた活発な意見交換が行われた。本セミナーでは、中小企業・小規模事業者が抱える課題や現状への理解を深めるとともに、各種支援制度を学ぶ有意義な機会となった。



講師の国分東北(株)経営統括部副部長 村川誠明氏

去る六月十二日、二十名の会員事業者等が参加のもと、オンラインにより商談力・販売力の向上セミナーを開催した。

講師には、大手卸売業者の国分東北(株)経営統括部副部長村川誠明氏を迎え、食品流通の要である卸売業の視点から、流通の基礎知識や効果的な商談のポイント等について分かりやすく説明いただいた。

県内バイヤーとのマッチングによる販路開拓支援事業 卸から見た 売場に求められる商品とは ～商談力・販売力向上セミナー～

去る六月十二日、二十名の会員事業者等が参加のもと、オンラインにより商談力・販売力の向上セミナーを開催した。

を介することで、商品はスーパー、コンビニ、百貨店、外食産業など、広範な販路に展開される。その結果、販売エリアも地域から全国、さらには海外へと拡大する可能性が高まるとされた。

次に商談においては、自社商品の差別化や製造方法へのこだわり、ターゲット層の明

確化、そして「商品をどう売るか」といった販売戦略について解説いただいた。

なお、本会では、左記のとおり「個別商談会」を開催いたします。現在、参加者を募集しておりますので、販路拡大を目指す会員事業者の参加をお待ちしております。詳しくは、所属の商工会までお気軽にお問い合わせください。

- 個別商談会予定
- ・ 十月七日(火)
- 道の駅東松島(東松島市)
- ・ 十月二十九日(水)
- やまもと夢いちごの郷 (山元町)

去る六月十九日、百十名の会員事業者が参加のもと、オンラインによりSNS活用セミナー(基礎編)を開催した。

令和六年度補正 事業環境変化対応型支援事業 はじめてみよう！ LINE・Instagram ～SNS活用セミナー(基礎編)～

講師には、グローバルマーケティング(株)コンサルタント堀田タケル氏を迎え、SNSの各種ツールの特徴や活用法について、分かりやすく解説いただいた。

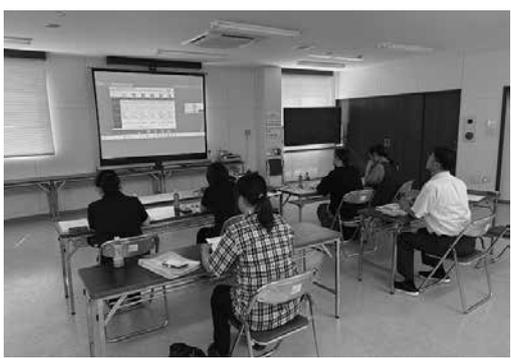
特に、全世代で約九十五パーセントという圧倒的な利用率を誇る「LINE公式アカウント」

画像や動画による視覚的アピールが可能な「Instagram」、そして「Googleマップ」を検索やGoogleマップを通じて集客に欠かせない「Googleビジネスプロフィール」について、それぞれの特徴や機能と具体的な活用事例の紹介をいただいた。

① LINE公式アカウント 企業と顧客が一对一でやり取りできるメッセージやチャット機能の重要性、リピート促進に効果的なクーポンやシヨップカードの活用が示され、特に地域密着型ビジネスにおいて顧客のファン化に効果的であると説明された。

② Instagram 視覚的な訴求力に加え、「タグ」に代表される検索ニーズの高さが特徴である。フィード投稿やリール動画の活用事例が具体的に示され、ユーザー投稿による認知の拡大、そして写真・動画のクオリティが重要であることが説明された。

③ Googleビジネスプロフィール 写真の充実や口コミへの誠実な返信の必要性が挙げられ、正確な情報を発信するためにはオーナー登録が不可欠であることが説明された。



商工会でセミナーを受講する事業者



講師のグローバルマーケティング(株) 堀田タケル氏

● セミナー開催予定
・ 十月十四日(火)
生成AIを活用した販促ツールのクオリティ向上セミナー

参加した事業者からは「事業に役立つ」等の声が多く寄せられ、SNSを長期的な施策として事業やプロモーションへ活用したいというニーズの高さがうかがえる結果となった。

なお、本会では事業者の皆様が直面する様々な事業環境の変化に対応できる「デジタル化」に焦点を当てた各種セミナーを左記のとおり開催いたしますので、参加をご希望の方は、ぜひ所属の商工会までお気軽にお問い合わせください。

元気な事業所紹介

「1gからのやさしい暮らし “たべることくらすことSOW”が蒔く、未来の種」

たべることくらすことSOW 代表 佐藤 弥絵 氏



Instagramアカウント

所在地：宮城県柴田郡川崎町大字川内字大原前151-8 HP：https://sow.shopselect.net/

Instagramアカウント：https://www.instagram.com/sow_no_coto/

※お問い合わせは、Instagramのダイレクトメッセージにてお願いいたします

【事業概要】

令和五年五月にオープンした当店では、ナッツやドライフルーツ、グラノーラ、ピーナッツバターなどのオーガニック食品を中心に、環境に配慮した「量り売り方式」を採用し販売しています。

また、地元の「パン工房ゆがふ」から届く天然酵母のパンの販売やコーヒーショップ「火星とコーヒー」による焙煎珈琲の出張販売、フェアトレードブランド「シサム工房」や「Idozan（イチダース）」とのPOP・UPイベントも開催しています。

さらに、食や手仕事をテーマにした企画展「Taneichi（タネイチ）」を定期的に開催し、地域や来店者同士をつなぐ場を積極的に提供しています。SNSでも商品やイベントの情報を発信しており、遠方から多くのファンにご来店



1gから必要な量を購入することができる

【商工会との関わり】

川崎町商工会の伴走型支援を受けながら、自立した事業運営を築いてきました。開業当初より、商工会の丁寧なサポートのもとで経営計画策定に取り組み、販売実績や仕入状況、顧客ニーズ、競合分析などを踏まえた数値目標の設定によって、経営の見える化を進めています。特にSNSでの情報発信や商品構成の見直しなどの具体的なアクションを経営計画に反映させたことは、補助金申請や報告書作成にも活用できる実践的な内容となりました。これらの支援を通じて、当店は自走可能な体制を整え、持続的な成長を実現しております。商工会との協働は、制度活用に限らず、地域に根ざしたリアルな経営の礎となっております。

【今後の展望】

令和六年三月より、仙台市青葉区錦町の「木香テラス」内にて、シェアショップ「meguru（めぐる）」の運営を開始しました。これにより、都市部での販路拡大とブランド認知の向上に取り組んでいます。

しかしながら、川崎町で培ってきた価値観やストーリーが仙台市の消費者に十分に伝わっておらず、リピーターの獲得や安定した販売戦略の構築が現在の経営課題だと認識しております。今後は、店舗内に商品の背



フェアトレードブランドの衣類や川崎町産の野菜も販売している川崎町の店内

景や生産地、そしてSOWの理念を発信するミニ展示を開設し、ブランドの理解促進を図ります。さらに、試食販売や量り売り体験イベントなどを通じて、「つくり手の顔が見える買い物」や「量り売りが持つ意味」といった魅力を積極的に伝えていきたいと考えています。

加えて、定期便サービスや予約受注制の「川崎便」の導入によって継続的な購買を促進し、SNSを活用した情報発信を強化することで、川崎町と仙台市の二拠点をつなぐ、都市部における持続可能な販路の形成を目指します。

— 宮城の中小企業を応援します —



取扱共済

宮城県火災共済協同組合

(あなたの財産を守る) 地震危険補償特約 火災共済+

(東北の車社会に根付いた共済) 自動車共済

(中小企業の福利厚生をサポート) その他の共済

(地震・水害等の被災時の事業継続を支援) 休業対応応援共済

(自動車事故による経済的負担をサポート) 自動車事故費用共済

生命傷害共済・所得補償共済 医療・傷害総合保障共済等

まずはお見積りを！ お問い合わせ・お申込みは お近くの商工会へ

宮城県よるす支援拠点の経営「コラム」

小規模事業者こそ
イノベーションで成長戦略を。

宮城県よるす支援拠点チーフコーディネーターの佐藤創です。今回から、小規模事業者だからこそ実現できるイノベーションと事業成長について、事例を交え数回に渡りお伝えします。一回目は「小規模事業者の成長戦略とは何か？」です。本コラムが皆様の事業成長への指針や動機づけにつながれば幸いです。

「成長」とは、端的に売上が昨年対比で伸びていくことです。急激な売上増加だけでなく、持続的・段階的に伸びることも含みます。成長のパターンには大きく四つしかありません（上図）。縦軸が市場や顧客層、横軸が商品やサービスとし

た場合、それぞれ「既存」と「新規」の組み合わせで考えます。
①市場浸透は、既存商品で既存市場へ展開する方法です。今の市場で成長できる余地があることが前提です。当地点の事例では、地方定食屋が無添加の食事を提供する独自の価値を、地元ファミリー層へ新たに周知した事例に当たります。食育の意味でも利用者増加につながりました。
②新販路開拓は、既存商品を新規市場へ展開する方法です。当地点の事例では、婦人服の卸売事業者が、今までの販路である温浴施設・旅館の売店から、コンビニや介護施設へ販路開拓をした事例に当たります。高齢シニア女性が買い求めやすい場所に展開し事業成長をしています。
③新商品開発は、新しい商品を、既存市場へ展開する方法です。当地点事例では、老舗着物店が、地域の既存客に向けて、新たに着物の買取・レンタルサービスを開始する

事例に当たります。着物のリサイクル需要をとらえ買取点数を一気に伸ばしました。
④多角化は、新たな商品を新たな市場やニーズに展開する方法です。当地点事例では、地元の家具店が、地域で新たに発生した介護ニーズに対応し、デイサービスを展開する事例に当たります。地域内市場の関心毎を捉え、即時対応し成長を実現しました。
四つすべてに共通するのは、成長市場に足を踏み入れる必要がある点です。過去の延長だけで成長は実現できません。これは純然たる事実です。小規模事業者こそ、地域内のニーズをとらえ小回りの利く身軽さで「まずはお試し」でどんどん挑戦していきましよう。挑戦の数だけ、成長が近くなると言えます。

いかがでしたでしょうか。自社へ応用し考えて頂けますと幸いです。次回はイノベーションとは何か？をお届けします。ぜひ「社長の挑戦を支えるパートナー」。宮城県よるす支援拠点へご相談下さい。

社長の挑戦を支えるパートナー。
宮城県よるす支援拠点
022(393)8044

32万を超える法人・個人事業主の皆様が
バトonzを活用して
M&Aを検討しています

3年連続 No.1
累計成約件数

3年連続 No.1
成約件数

3年連続 No.1
登録案件数

※M&Aプラットフォーム市場における累計成約件数・登録案件数・成約件数2021~2023年度（税込値を含む）No.1出典：デロイトトーマツミック経済研究所「2023年版」国内ビジネスマッチングプラットフォーム市場の現状と展望【2023年版】（mic-r.co.jp）

バトonzとは？
会員数/成約数で国内No.1※のM&A・事業承継支援サービスです



お問合せは最寄りの商工会
もしくは右記まで

お電話でのお問合せ 0120-998-603

WEBサイトはこちら <https://batonz.jp/>





ワンポイント経営アドバイス/
自由闊達

事業価値を高める

～変化 先取り ひと工夫 新たな事業活動にチャレンジ～



宮城県商工会連合会嘱託専門指導員
中小企業診断士 工藤 弘之

専門分野は事業連携・生産革新。中核的支援機関で中小企業者等の経営革新や創業支援に従事。令和4年4月から現職。

商品開発のシーンなどで、アイデアが湧かないという人がいますが、それは当たり前のことです。何もせずにはっとアイデアが湧いてくることなんて、まずありえません。企画を仕事にしている人たちから「アイデアが湧く」という言い方を聞くことありますが、その背景には彼らはアイデアのベースになるもの、すなわちアイデアの素になる多くの情報に加え、発想を促すちょっとしたコツやテクニックを既に持っているからだと考えます。

▶ **アイデア発想のネタ探し**

企業の実務支援で同行させていただいたS氏が講師を務めた講演会、その資料の編集に携わった時のこと。以前にも紹介しましたが「ささやかな驚きと感動」というフレーズは彼の口癖のひとつでした。

あの時の資料の一片にアイデアを見つける視点と

して、①不便・困難に感じられているものがないか、②感動・感激をネタにしたものはないか、③自分の趣味・嗜好に関連のあるもので何かないか、④自分の経験や専門の領域で考えられないか、⑤自分の持ち物や資産を活かせないか、といった旨が記されていた記憶があります。発想法の有名どころではブレインストーミング、KJ法、オズボーンのチェックリストなどがありますね。いずれアイデアは絞り出すもの、探し出してひねり出すものであり、何を取り上げて何にフォーカスするのか、そして、自分のできることを見つけて最後までとことん考え抜いていく、そのプロセスにこそモヤっとしたアイデアを現実にするポイントが隠れているのかもしれませんが。

健康グッズを買おうと思った時、その商品がどんなところが良いのかわからなければ、なかなか手は出せません。長い説明を聞いて理解しなければならぬのでは、聞いているうちに消費マインドも冷めてしまいます。「使ってみたら気持ちいい！」これ以上に分かり易いものがあるでしょうか。まさにそこには、ささやかな驚きと感動が・・・、ですね。

「万一」の事態に備えて、

「**事業継続力強化計画**」

策定 を検討してみませんか？



どんな企業もさまざまなリスクに晒されています。

だから、「対策」を考えておくことが重要です。

地震や水害といった大規模災害はもちろん、それに伴う風害や停電、未知の感染症の流行等が発生しても、企業が事業を継続できないリスクは高まります。また、サイバー攻撃等の犯罪行為によって、事業継続が危ぶまれるケースも増えています。

計画を策定し国の認定を受けると、様々なメリットがあります。



名刺やwebサイトに掲載することができます。



計画策定の際は
最寄りの商工会を
どうぞご利用ください

令和7・8年度 商工会等職員採用資格試験

宮城県経済の活力をつくる中小企業・小規模事業者への 経営支援と地域振興に意欲のある方のご応募お待ちしております！

受験資格
採用職種
採用予定人数

- ①経営指導員 高校卒業以上34歳未満*/若干名
 - ②経営指導員研修生 大学卒業以上28歳未満*/1名
 - ③事務職員 高校卒業以上39歳未満*/若干名
- *長期勤続によるキャリア形成のため
*年齢は令和7年4月1日付で令和8年3月卒業見込含む
※詳細な受験資格は本会HPをご確認ください。

【オンライン説明会開催】

事前予約制！

※マイナビよりご予約下さい
※マイナビ登録が難しい場合
下記へお問い合わせ下さい



マイナビ

試験日時

第1次試験（教養試験・論文試験・適性検査）
令和7年10月4日（土）指定時間にWEB受験
及び論文メール提出
（詳細については応募者に別途お知らせします。）
※第2次・第3次試験（面接試験）の詳細は
合格者に別途お知らせします。

勤務地

宮城県内33商工会
又は宮城県商工会連合会

勤務時間

8時30分～17時15分（休憩45分）

休日

完全週休2日制（土・日）、祝日、
年次有給休暇、夏季休暇、年末
年始休暇ほか

募集締切

令和7年9月26日（金）本会受付分

応募方法

応募締切日までに受験申込書、履歴書（写真貼付）、
職務経歴書それぞれ1通を郵送・持参、又は
メールにて本会にお申込みください。

待遇

本会給与規程により支給
各種手当、賞与年2回、昇給年
1回、社会保険他各種福利厚生、
教育研修制度



宮城県商工会連合会

総務人事部人事研修課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-14-2
宮城県商工振興センター2F

TEL 022-225-8751

詳しくは本会ホームページをご覧ください。（<https://www.miyagi-fsci.or.jp/>）



きつとみつかる
いい人、いい仕事



ジョブ産雇

「失業なき労働移動」の実現をめざす再就職・出向の専門機関



公益
キヤリアワー
サインジョブさん

企業と人材を結ぶエキスパート

働く
と雇用を
サポート
6つの
取り組みで

- ① 離職する従業員の再就職をサポート
- ② 人材を確保したい企業に対するサポート
- ③ 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート
- ④ 雇用を維持するための在籍型出向をサポート
- ⑤ 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート
- ⑥ 従業員のスキルアップや研修を目的とするセミナー（有料）

費用は
無料



公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇）宮城事務所

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-1-1 大樹生命仙台北町ビル 6階

TEL 022-726-1826

FAX 022-216-7700

IMPULSE

青年部
コーナー

最優秀賞は

菅野真也くん(角田市)

—商工会青年部員研修会—



最優秀賞に選ばれた菅野真也くん(角田市)

商工会青年部員研修会が六月二十三日、江陽グランドホテルで県下青年部員等百七十五名参加のもと開催され、主張発表大会では、県下五ブロックからの代表者が日頃の青年部活動等について熱弁を振るった。

厳正な審査の結果、「青年部とのつながり」事業再建への架け橋」と題し、令和四年の福島県沖地震により深刻な被害を受けた中華料理店の再建と、青年部員の仲間たちとのつながりについて発表した菅野真也くん(角田市)が最優秀賞を受賞。八月二十七日に仙台市で開催される主張



地域のリーダー像について説明する小林会長

発表東北六県・北海道ブロック大会に本県代表として出場する切符を手中に収めた。

また、講演会では全国商工会青年部連合会 小林信作会長より「商工会と地域の未来」リリーダ」としての覚悟と行動」と題し講演をいただいた。全国的に少子高齢化が進んでおり、労働力不足や地域経済の衰退が危ぶまれる中で、青年部に求められる地域のリーダー像や地域社会における商工会の機能のあり方など、今後の青年部活動への想いをお話しいただいた。

なお、主張発表大会の結果は次の通り。



女性部
コーナー

ひとりの小さな手がつなぐ福祉の輪
伊藤浩子さんが主張発表

—東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会—



本県代表の伊藤浩子さん(加美)

第二十四回東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会並びに商工会女性部主張発表大会東北・北海道ブロック大会が七月二十三日、秋田県秋田市あきた芸術劇場ミルハスを会場に、東北・北海道各地からの女性部員約三百七十名参加のもと開催された。

はじめに主張発表大会が行われ、東北六県・北海道の各代表七名が、女性部活動を通じて得た経験や成果について熱弁を振るった。

本県代表の加美商工会女性部長 伊藤浩子さんは「女性

部活動に参加して「ひとりの小さな手活動」と題し、ブルタブや使用済み切手の収集を通じて地域福祉への貢献を図り、女性部の絆を深める取り組みについて発表した。

審査の結果、惜しくも全国大会への出場は叶わず、最優秀賞には、「女性部活動に参加して「新しい土地で見つけた私の居場所」と題して発表した秋田県代表 大仙市商工会女性部の井上友紀さんが選ばれ、来たる十月十五日、福井県越前市で開催される全国大会に、東北・北海道ブロッ



稲庭うどの伝統を守り抜いてきた8代目佐藤養助氏

クの代表として出場することとなった。

続いて、有限会社佐藤養助商店代表取締役 佐藤養助氏を講師に「地域を育む百年企業」佐藤養助商店が描く持続可能な未来」と題し社会環境の変化に対応する必要性や、稲庭うどの商品開発を起点とした新たな挑戦について、動画を交えて講演いただいた。

研修会終了後には、会場を秋田キャッスルホテルに移し全体交流会が開催された。ユネスコ無形文化遺産に登録されている西馬音内盆踊りや秋田県在住の「夫婦トランペットデュオ プリナルーナ」による演奏が披露されるなか、部員同士の交流が図られ、会場は終始活気に包まれた。



本県より参加した女性部員

○最優秀賞

菅野 真也くん(角田市)

○優秀賞

小西 康博くん(みやぎ仙台)